

農林漁業体験をするとどんないいことがあるの？

学校などで農林漁業を体験することは、どのようなことと関係しているのでしょうか。日本人を対象とした研究から分かったことをご紹介します。

農林漁業体験をするとこんないいこと

- 農林漁業体験は、食べ物に対する意識や関心の変化と関係しています
- 農林漁業体験は、食べ物に関する意識や知識と関係しています
- 農林漁業体験は、食べ物の嗜好と関係しています
- 農林漁業体験は、食べ残しなどの食行動と関係しています
- 農林漁業体験は、心の健康と関係しています

農林漁業体験ってなに？

- 第3次食育推進基本計画では、「農林漁業者等は、学校、保育所等の教育関係者を始めとした食育を推進する広範な関係者等と連携し、幅広い世代に対して教育ファーム^{※1}等農林漁業に関する多様な体験の機会を積極的に提供するように努める。」こととされています。
- 農林漁業体験には、田植え(種まき)、稲刈り、野菜の収穫、家畜の世話などが含まれます。



^{※1} 教育ファームとは、「自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めること等を目的とし、農業者団体等が生産現場に消費者を招き、一連の農作業等の体験の機会を提供する取組」を指します。

農林漁業体験は、食べ物に対する意識や関心の変化と関係しています

農林漁業体験をすることは、食べ物に対する意識の変化や関心の高まりと関係しているという研究結果が複数報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

- ① 小・中学生を対象とした研究では、農林漁業体験に取り組むことで、食べ物を大切にする意識や食べ物への関心をもつようになることが報告されています。^{※1}
- ② 幼児を対象とした研究では、農林漁業体験に取り組むことで、野菜を食べる量が増えるなど、食生活により影響を与えることが報告されています。^{※2}



研究ノート

～野菜作り体験学習に取り組んだ事例～

誰を調べたの？	福岡県内の小学3年生の児童64人を対象に総合的な学習の時間に「野菜作り体験学習」を半年間実施しました。
何を調べたの？	体験学習を実施することで、環境や食農に対する意識、日常行動や食習慣にどのような影響を与えるかを調べました。そのため、体験学習を経験した児童には、学習の前と後にアンケート調査を実施しました。また、体験学習を実施していない学校の児童には、比較のためにアンケート調査のみを実施しました。
何が分かったの？	アンケート調査の項目のうち、「食事について好き嫌いが無い」「いつも野菜を多めに食べたい」と回答した児童の割合は、「野菜作り体験学習」の実施前より実施後のほうが、また、体験学習を実施していない学校の児童よりも体験学習を実施した学校の児童(学習実施後)のほうが、多いことがわかりました。

英 格ら, 農業体験学習が環境意識と食習慣に及ぼす影響の比較分析-教育効果と地域効果の分離の視点から-, 環境教育, 2014, 24(2), p.40-49[論文番号1]

※1 論文番号(農林漁業体験):1,2,5,7,8

※2 論文番号(農林漁業体験):6,9

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiiku/evidence/index.html>

農林漁業体験②より得られた内容

農林漁業体験は、 食べ物に関する意識や知識と関係しています

農林漁業体験は、食べ物に関する意識や知識と関係しているという研究結果が複数報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

農林漁業体験をしている人は、そうでない人と比較して…

- ① 幼児や小・中学生を対象とした園や学校での作物栽培に関する研究では、食に対する関心や感謝の気持ちが高いことが報告されています^{*1}。



- ② 小学生を対象とした食農教育モデル校・家庭菜園・旅行先での農業体験に関する研究や、大学生を対象とした農業体験学習に関する研究では、旬の野菜や郷土料理などを知っている人が多いことが報告されています^{*2}。

- ③ 成人と高齢者を対象とした農業体験農園や市民農園での作物栽培に関する研究では、食に関する意識が高いことが報告されています^{*3}。

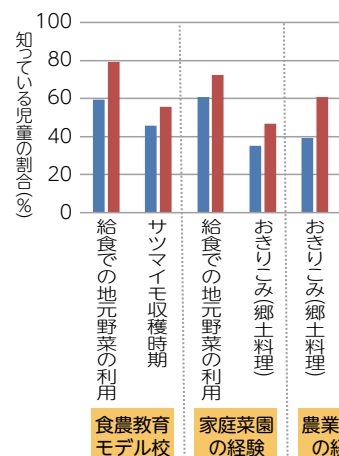
研究ノート

～食農教育モデル校や家庭菜園・農業体験の経験がある児童は、食に関する知識が豊富!?～

誰を調べたの？	群馬県にある4つの小学5・6年生、524人を対象にしました。
何を調べたの？	食農教育モデル校の指定、家庭菜園の経験、農業体験の経験と、食に関する知識(給食での地元野菜の利用、サツマイモ収穫時期、おきりこみ(郷土料理))との関連を調べました。
何が分かったの？	- 食農教育モデル校の指定がある学校では、給食で地元野菜を利用していることを知っている児童や、サツマイモの収穫時期を知っている児童が多い - 家庭菜園の経験があると、給食で地元野菜を利用していることを知っている児童や、おきりこみを知っている児童が多い - 農業体験の経験があると、おきりこみを知っている児童が多いということが分かりました。その他では、農業体験の経験があると家族と食料品の買い物に行く児童が多いという結果でした。

大浦 裕二ら、学校給食および食農教育が児童に及ぼす影響に関する一考察、農林業問題研究、2009、45(2)、p.254-257 [論文番号8] (表2 よりグラフを作成)

食農教育モデル校の指定や家庭菜園・農業体験の経験と食に関する知識との関連



食農教育モデル校の指定のある学校や家庭菜園や農業体験の経験のある児童の方が、食に関する知識が豊富なのが分かります

*1 論文番号(農林漁業体験):1,2,4,5,7,12

*2 論文番号(農林漁業体験):8,13

*3 論文番号(農林漁業体験):19

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/index.html>

農林漁業体験は、 食べ物の嗜好と関係しています

農林漁業体験は、食べ物の嗜好と関係しているという
研究結果が複数報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

農林漁業体験をしている人は、そうでない人と比較して…

- ① 幼児を対象とした家庭菜園や園庭での作物栽培に関する研究では、栽培した野菜を好む人が多いことが報告されています^{*1}。
- ② 小学生を対象とした農業体験学習に関する研究では、食事の好き嫌いが少ない人が多いことが報告されています^{*2}。



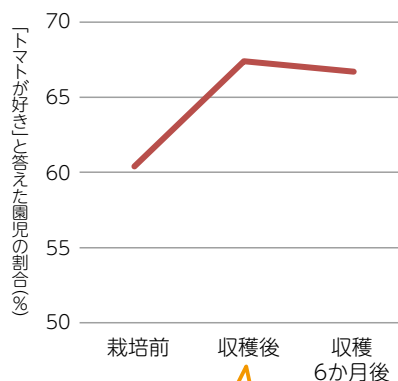
研究ノート

～トマトを栽培した幼児は、トマトが好きになる!?～

誰を調べたの？	北海道某市内5幼稚園の年少児221人を対象にしました。
何を調べたの？	トマト・ミニトマトの栽培・収穫・試食を幼稚園で行い、トマトの嗜好が改善するかを調べました。
何が分かったの？	トマトの嗜好は、栽培前と比べて収穫後および収穫6か月後で改善していました。その他には、偏食(苦手なものを食べる)、食に関する興味関心(野菜について知っていることを楽しそうに話す、食事を残したり落としたりしたときはもったいないと思う)についても、栽培前と比べて収穫後や収穫6か月後で改善していました。

木田 春代ら、幼稚園における野菜栽培活動が幼児の偏食に及ぼす影響 トマト栽培に関する検討、栄養学雑誌、2016,74(1),p.20-28 [論文番号2](表2 よりグラフを作成)

トマト栽培前・収穫後・収穫6か月後のトマトの嗜好の変化



栽培前と比べて収穫後で
トマトが好きと答えた園児が増えた
ことが分かります

*1 論文番号(農林漁業体験):1,2

*2 論文番号(農林漁業体験):4

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiiku/evidence/index.html>

農林漁業体験②より得られた内容

農林漁業体験は、 食べ残しなどの食行動と関係しています

農林漁業体験は、食べ残しなどの食行動と関係しているという研究結果が複数報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

農林漁業体験をしている人は、そうでない人と比較して…

- ① 幼児や小学生を対象とした家庭や学校での作物栽培に関する研究では、食べ残しが少ないことが報告されています^{*1}。
- ② 大学生や成人・高齢者を対象とした農業体験学習や作物栽培に関する研究では、主食・主菜・副菜をそろえた食事や様々な食品をそろえた食事をしている人が多いことが報告されています^{*2}。
- ③ 成人と高齢者を対象とした市民農園や家庭菜園での作物栽培に関する研究では、野菜を食べる頻度が高いことや入手する機会が多いことが報告されています^{*3}。



研究ノート

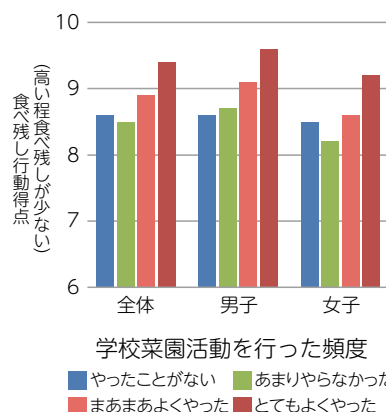
～学校菜園活動をしたことのある児童は、
食べ残しが少ない?～

誰を調べたの？	東京都A区の公立小学校に通う小学5・6年生1,994人を対象にしました。
何を調べたの？	学校菜園活動を行った頻度と食べ残し行動との関連を調べました。
何が分かったの？	学校菜園活動を行った頻度が高いほど、食べ残し行動得点が高い(食べ残しが少ない)ことが分かりました。その他では、学校菜園活動を行った頻度が高いほど、「もったいない」と思う気持ちが強く、野菜を好み、野菜を食べることによる結果期待が高いという結果でした。

谷口 貴穂ら、児童の食べ残しの行動に関わる要因の検討:「もったいない」と思う気持ちと野菜摂取について、日本健康教育学会誌,2009,17(1),p.24-33 [論文番号6] (表3よりグラフを作成)

学校菜園活動を行った頻度が高いほど、
食べ残しが少ないことが分かります

学校菜園活動と
食べ残し行動との関連



*1 論文番号(農林漁業体験):1,2,3,6

*2 論文番号(農林漁業体験):13,18

*3 論文番号(農林漁業体験):16,18 (なお、17では関連がみられなかった)

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiiku/evidence/index.html>

農林漁業体験は、 心の健康と関係しています

農林漁業体験は、心の健康と関係しているという
研究結果が複数報告されています。

農林漁業体験に取り組むとこんないいこと

農林漁業体験に取り組むと…

- ① 小・中学生を対象とした農村での農業体験に関する研究では、
緊張や不安、怒りが低下することが報告されています^{※1}。

- ② 成人と高齢者を対象とした市民農園での
作物栽培に関する研究では、農業体験をして
いる人のほうが心の健康状態がよいこと
が報告されています^{※2}。



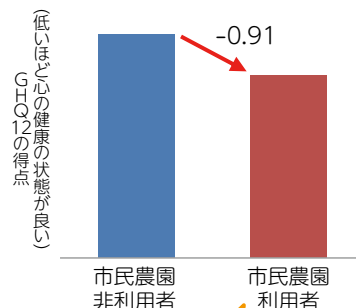
研究ノート

～市民農園利用者は、心の健康状態が良い!?～

誰を調べたの？	練馬区内の市民農園利用者165人と市民農園非利用者167人を対象としました。
何を調べたの？	市民農園の利用と心の健康(GHQ12:得点が低いほど心の健康の状態が良い)との関連を調べました。
何が分かったの？	市民農園利用者のGHQ12の得点は、市民農園非利用者より低いという結果でした。つまり、市民農園利用者の方が心の健康の状態が良いことが分かりました。その他には、市民農園利用者は市民農園非利用者と比べて、野菜を食べる頻度が高く、自分のことを健康だと思っており、健康の自覚症状は少なく、地域の人との結びつきが強いと感じているという結果でした。

Soga M, et al. Health Benefits of Urban Allotment Gardening: Improved Physical and Psychological Well-Being and Social Integration, Int J Environ Res Public Health, 2017, 14(1), 71 [論文番号16] (Table 3よりグラフを作成)

市民農園の利用と 心の健康との関連



GHQ12の得点は、低いほど心の健康の状態が良いことを示します。つまり、市民農園利用者の方が、心の健康の状態がよいことが分かります

※1 論文番号(農林漁業体験):9,11

※2 論文番号(農林漁業体験):16

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/index.html>



農林漁業体験③より得られた内容

農林漁業体験をすると どんないいことがあるの？

～海外の研究から分かったことをご紹介します～

農林漁業体験をするとこんないいこと

農林漁業体験をしている人は、そうでない人と比較して、
以下のことが報告されています。

●農林漁業体験は、食べ物に関する意識や知識と関係しています※¹

野菜や果物を食べようとする意欲や栄養に関する知識が高いことなどが報告されています。

●農林漁業体験は、食べ物の嗜好と関係しています※²

野菜や果物を好きなことなどが報告されています。

●農林漁業体験は、食行動と関係しています※³

野菜や果物を食べる量が多いことやバランスの良い食事をとっていることなどが報告されています。

●農林漁業体験は、体を動かすことと関係しています※⁴

体を動かす量が多いことなどが報告されています。

●農林漁業体験は、心の健康と関係しています※⁵

ストレスホルモン値が低いことなどが報告されています。

●農林漁業体験は、人や地域とのつながりと関係しています※⁶

社会参加が多いことや地域の結束が強いことなどが報告されています。



※¹ 論文番号(農林漁業体験__海外):2,8,9,10,12,14

※² 論文番号(農林漁業体験__海外):7,8,9,10,12,14

※³ 論文番号(農林漁業体験__海外):1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14

※⁴ 論文番号(農林漁業体験__海外):1,3,6,7,8

※⁵ 論文番号(農林漁業体験__海外):1,6,7,11

※⁶ 論文番号(農林漁業体験__海外):1,3,6,7,11

論文一覧はこちらに掲載しています(農林水産省ホームページ):<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/index.html>